

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

『文藝春秋 2026 年の論点 100』

文藝春秋 271 頁 1800 円(税別)

2026 年はどんな年になるでしょうか？

★★ 西洋の敗北

ウクライナ:

・ロシアが軍事的に優勢に立ち、経済も安定しているのに対して、産業が空洞化した米国は十分な武器を供給できず、西洋連合の GDP の 3.3% しかないロシア側が武器を供給できている。欧州は経済制裁の最大の被害者。

・米国: 敗北を認めている。

・欧州: 認めていない

・フランス: マクロン大統領が「フランスがロシアの第一の敵である」と宣言したが、ロシアの眼中にない。

・英国: スターマー首相が「ロシア軍と渡り合えるだけの軍隊を英国は有する」という妄想にしがみついている。

・ドイツ: メルツ首相には「戦争への積極的な参加」の可能性がある、そうなった場合ロシアにとっての真の脅威となる。ロシアの戦術核使用が現実味を帯びてくる。

・欧州外交: 指導しているのはエストニアの元首相カヤ・カッラスで、狂信的な反露主義者。

・米国: ウクライナ戦争での敗北は、これまでに経験したことのない敗北。「ドル基軸体制の崩壊」を含む「米国覇権の終わり」の始まりとなる。

★★ 台湾

・漢光: 漢光は年一回実施される対中戦闘模擬演習。2025 年は期間も例年の倍、中国軍が台湾に侵入し、「都市防衛」と「市民戦」を想定した内容だった。台湾がここまで本気になったのは、台湾が中国の台湾進攻が本気だと気付いたからだ。また、頼総統は、中国で居住証や国籍、身分証を提供された台湾人には、台湾の国籍

放棄を求めることにした。中国では、認知戦を展開し「強制的平和統一」のシナリオに備えている。

★★ 中国

習近平の思想統制の結果である「非対称性」

1. 日本人は中国に行かないが、中国人は、移民、留学生、観光客として日本に押し寄せている。

2. 日本人には「中国人」は身近だが、「中国」のことを知らず、何が起きているかも見えていない。

★★ ロシア

プーチンが任期半ばで退陣し若手に道を譲るという情報が流れている。エリートの間では既に経済利権の継承が進み、政治権力の世襲の準備が始まっている。プーチンが元氣なうちに政権を委譲し「プーチン路線」の恒久化を狙っている。ウクライナ戦争が一段落すると 70 万人の兵士が帰還し社会混乱を招きかねない。プーチン後の権力闘争が始りそうだ。

★★ インド

・対米関係悪化: ⇒ロシアからの原油輸入⇒米国は、関税、高度人材ビザ(インド人が多い)に 1500 万円の手数料をかける。

・対中関係改善: 2024 年秋以降関係改善

★★ AI カウンセリング: 精神科医が外来患者にアンケートをとったところ 2025 年 8 月時点で AI をカウンセラーがわりに使っていることが判明。AI は、ユーザーに可能な限り頻繁に、かつ長期間使用し続けてもらうことを目指している。そのため、AI はユーザーとの過去の対話記録を学習し、1 人 1 人に最適化された応答を生成する。その結果ユーザーは、AI が自分のことを理解してくれる「よき相談相手」だと感じるようになっていく。

2026 年どのようになると思われますか？

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

2026年

前頁の書籍の裏表紙にカレンダーが載っていました。2026年でこんな年なんだと思えて楽しいです。ご自分用のカレンダーを作ってみませんか？

予定、したいことなどを書いておくといいと思います。1年が1枚に収まった年間カレンダーが利用しやすいかもしれません。

- 1月:・大河ドラマ「豊臣兄弟！」放送開始
・ウィキペディア誕生 25 周年
- 2月:・イタリア冬季オリンピック
・司馬遼太郎没後 30 年
- 3月:・WBC 開幕
・東日本大震災から 15 年
- 4月:・道路交通法改正
・アップルコンピュータ創立 50 周年
- 5月:・ドラゴンクエスト発売 40 周年
・オバマ元米大統領の広島訪問から 10 年
- 6月:・FIFA ワールドカップ アメリカ・カナダ・メキシコ大会が開幕
・大相撲パリ公演
- 7月:・気象庁発足 70 周年
・ポケモン GO サービス開始から 10 年
- 8月:・サッカーJリーグが秋春制のシーズンへ移行
- 9月:・名古屋でアジア競技大会開幕
・米同時多発テロから 25 年
- 10月:・ビール類の酒税が一本化
・第 80 回国民スポーツ大会が青森で開催
- 11月:・日本国憲法公布 80 周年
・米中間選挙
- 12月:・昭和改元から 100 年
・日本の国連加盟 70 周年

生成 AI の利用法

生成 AI を仕事や生活で使うお客様が増えてきたように思います。使えば便利、使わなければその便利さもわかりません。そして、当たり前ですが、使えば使うほど、使い方がわかるようになります。それぞれ得意不得意があります。いくつかご紹介します。

★ChatGPT: 文章生成・要約・翻訳・学習補助まで幅広く対応する対話型 AI。無料版でも自然な日本語性能が高く、日常的な調べ物や文章下書きに十分使える。拡張機能や高度モデルは有料。

★Gemini: Google 提供。検索や Gmail などとの親和性が高く、事実確認や情報整理に強い。無料版でも文章生成や要約が可能で、調査用途に向く。

★Microsoft Copilot: Bing 検索と連動した AI。最新情報の参照が得意で、出典を示した回答が便利。Office 連携は有料だが、無料版でも検索＋生成の実用性が高い。

★Perplexity AI: 回答と同時に情報源を提示するのが特徴。調査・学習向けで、無料版でも十分に使える。簡潔で検証しやすいアウトプットが強み。

★Stable Diffusion (画像生成 AI): 画像生成 AI。無料の Web 版やローカル環境で高品質な画像を作れる。カスタマイズ性が高い反面、設定にやや知識が必要。スマホアプリ: 公式単体アプリなし (ただし、Stable Diffusion ベースの画像生成アプリが多数存在 / Web ブラウザからの利用は可能)

★Canva: デザイン作成に特化。AI による文章生成や画像生成を無料枠で体験可能。資料・SNS 画像作成を手早く行いたい人に向く。

ぜひ、いくつかお試してください。

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。